

有機酸・無機酸の作用を受ける
コンクリート構造物の防食被覆工法

超耐食性エポキシ樹脂

コンクリート防食被覆工法

ショウゼット® NCY

下水道施設用
民間ビルピット用

超耐食性エポキシ樹脂

ショウゼット® NCY

株式会社レゾナック
コンクリート構造物

特長

- 耐酸性** 耐有機酸性、耐無機酸性に優れ、ビルピット施設等の有機酸の発生するコンクリート水槽に使用出来ます。
- 作業性** 一度に数百ミクロンの厚付けが可能で、ガラスクロスが不要です。
- 接着性** 専用の素地調整材を用いることで躯体との密着性に優れます。
- 安全性** 有機溶剤を含まないので、引火燃焼及び中毒の危険がありません。

耐薬品性データ

	薬品名	濃度 (%)	温度 (°C)	90日後 評価
無機酸	硫酸	10	23	○
	塩酸	10	23	○
	硝酸	10	23	○
有機酸	ギ酸	5	23	◎
		5	40	○
		10	23	○
	酢酸	5	23	◎
		5	40	◎
		10	23	◎
	酪酸	5	23	◎
		5	40	○
		10	23	○
	プロピオン酸	5	23	◎
		5	40	◎
		10	23	◎
クエン酸	10	23	○	
	10	23	○	
アルカリ	苛性ソーダ	10	23	○
	次亜塩素酸ソーダ	0.5	23	○

◎：耐薬品性非常に良好(外観異常がなく、硬度変化も少ない) ○：耐薬品性良好(若干の外観変化あり、硬度変化少ない)

性状

品名	ショウゼット® SA-1			ショウゼット® NCY		ショウゼット® NCY トップコート	
	(主剤)	(硬化剤)	(粉体)	(主剤)	(硬化剤)	(主剤)	(硬化剤)
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	ポルトランドセメント珪砂等	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	変性芳香族ポリアミン	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	変性芳香族ポリアミン
外観	白色	淡黄色	灰色粉体	灰色ペースト状	褐色液状	灰色ペースト状	褐色液状
荷姿	16.5kgセット			15kgセット		15kgセット	
配合比(重量比)	主剤：硬化剤：粉体=1：1.25：6 (2kg：2.5kg：12kg)			主剤：硬化剤=4：1 (12kg：3kg)		主剤：硬化剤=4：1 (12kg：3kg)	
硬化物比重(25°C g/cm³)	1.59			1.44		1.43	

建材が提案する下水道施設、ビルピットの を守るための耐有機酸・耐無機酸塗布型ライニング工法

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル(平成29年12月)適合

ショウゼット® NCY工法ラインナップ

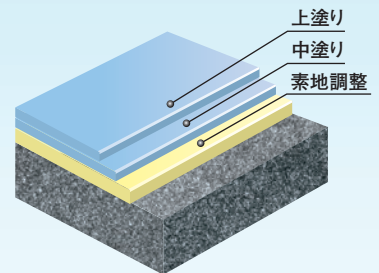
◆ A種対応

ショウゼット® NCY-A 工法

工程	仕様材料	使用量(kg/m ²)	施工方法
素地調整	ショウゼット® SA-1*	1.00	金ゴテ等
中塗り	ショウゼット® NCY トップコート	0.20	金ゴテ等
上塗り	ショウゼット® NCY トップコート	0.20	金ゴテ等

※:エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル

設計厚:0.2mm以上(硬化後厚さ)



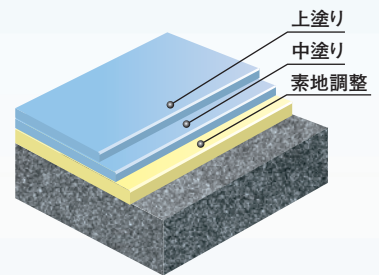
◆ B種対応

ショウゼット® NCY-B 工法

工程	仕様材料	使用量(kg/m ²)	施工方法
素地調整	ショウゼット® SA-1*	1.00	金ゴテ等
中塗り	ショウゼット® NCY トップコート	0.30	金ゴテ等
上塗り	ショウゼット® NCY トップコート	0.30	金ゴテ等

※:エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル

設計厚:0.35mm以上(硬化後厚さ)



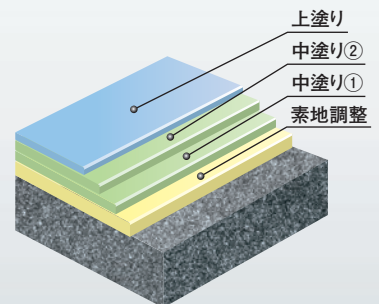
◆ C種対応

ショウゼット® NCY-C 工法

工程	仕様材料	使用量(kg/m ²)	施工方法
素地調整	ショウゼット® SA-1*	1.00	金ゴテ等
中塗り①	ショウゼット® NCY	0.50	金ゴテ等
中塗り②	ショウゼット® NCY	0.50	金ゴテ等
上塗り	ショウゼット® NCY トップコート	0.20	金ゴテ等

※:エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル

設計厚:0.7mm以上(硬化後厚さ)



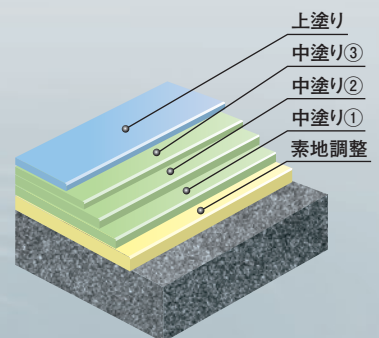
◆ D種対応

ショウゼット® NCY-D 工法

工程	仕様材料	使用量(kg/m ²)	施工方法
素地調整	ショウゼット® SA-1*	1.00	金ゴテ等
中塗り①	ショウゼット® NCY	0.60	金ゴテ等
中塗り②	ショウゼット® NCY	0.60	金ゴテ等
中塗り③	ショウゼット® NCY	0.60	金ゴテ等
上塗り	ショウゼット® NCY トップコート	0.20	金ゴテ等

※:エポキシエマルジョン系ポリマーセメントモルタル

設計厚:1.3mm以上(硬化後厚さ)



※色は便宜上の使い分けであり、製品の色とは異なります。

塗膜に変色が発生しても防食性能に問題はありません。

注意事項

〈施工上の注意〉

- ①気温が5℃以下、35℃以上、湿度が85%以上の場合は作業を中止するか、環境改善処置を行った上で施工してください。
- ②攪拌混合不良になると硬化不良の原因になりますので、攪拌には十分注意してください。
- ③温度及び湿度が高い程、配合量が多い程、可使用時間は短くなります。
- ④施工については各工法の標準施工要領書をご参照ください。
- ⑤塗膜は樹脂の特性上変色する可能性があります、品質に問題はありません。

〈応急措置〉

- ①吸入した場合
大量に吸入した場合は被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、毛布等で保温して安静に保つ。必要に応じ医師の処置を受けてください。
- ②皮膚に付着した場合
汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ、触れた部分を最初にアルコールやアセトン等の溶剤を浸した布で良く拭いてください。
その後水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼を用いて良く洗い落とししてください。
皮膚に炎症が生じた場合は速やかに医師の処置を受けてください。
- ③目に入った場合
清浄な水で最低15分間洗眼した後、ただちに眼科医の処置を受けてください。
洗眼の際、瞼を指で良く開いて、瞼、眼球の隅々まで水が良くいきわたるように洗ってください。
- ④飲み込んだ場合
すぐに医師の処置を受けてください。もし被災者が意識不明や痙攣を起こしている場合には、口から何も与えてないでください。

〈火災時の措置〉

- ①初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器や乾燥砂を用いてください。大規模火災の際は、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効です。
消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用してください。

〈漏出時の措置〉

- ①少量の場合
布や砂などに吸収させて容器に回収してください。
- ②大量の場合
土砂等で堰を作って流出の防止を図ると共に、火源を断ち消火用機材等を準備し、火災発生の防止に努めてください。
保護具を着用して漏出液を可能な限り容器に回収してください。
残った液は土砂、布等で拭き取り容器に回収してください。河川、下水、排水路等に流さないでください。

〈取扱い及び保管上の注意〉

- ①取扱い
火気、衝撃火花などによる着火源を生じないようにしてください。
取扱い作業は局所又は全体排気設備のある場所で行ってください。
保護具(保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等)を着用してください。
容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える等の乱暴な取扱いを行わないでください。
取扱い後は手洗い、うがいを十分行ってください。
- ②保管
火気厳禁にしてください。火気、衝撃火花などによる着火源により、火災の原因となります。
容器に漏れないことを確認し、密閉してください。
直射日光、水分の混入、高温物の近くを避け一定の保管場所を決めて保管してください。
使用時以外は必ず適法な施設内に保管してください。
倉庫以外に保管する場合は必ず子供の手の届かない所定場所に保管してください。

〈廃棄上の注意〉

廃棄する場合は、専門の産業廃棄物取り扱い業者に依頼して処理を行ってください。

〈輸送上の注意〉

- ①包装容器が破損しないように積載し、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- ②直射日光、水分の混入、高温物の近くを避けてください。
- ③消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法を厳守してください。

詳細は安全データシート(SDS)取扱説明書を参照するか、下記営業所にお問い合わせください。

このカタログの記載内容は'23.1月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。

株式会社レゾナック建材

■本社・営業部

〒221-8517
横浜市神奈川区恵比須町8番地
TEL(045)444-1691
FAX(045)444-1699
https://rkc.resonac.com/dobokuzai_kp/

■仙台営業所	〒983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14	TEL(022)742-5077	FAX(022)291-1911
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄3-11-23	TEL(052)249-3151	FAX(052)249-3152
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL(06)6100-2202	FAX(06)6100-1232
■福岡営業所	〒810-0001	福岡市中央区天神4-1-1	TEL(092)737-5061	FAX(092)737-5062
■関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住関屋町1-4	TEL(03)3881-5001	FAX(03)3870-3952
■東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL(022)231-2070	FAX(022)231-2073
■中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市中区西郷17-2	TEL(052)501-2421	FAX(052)501-2424
■関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL(072)641-6399	FAX(072)641-6401

【 ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所 】